

大館の歴史散歩

市内の遺跡を訪ねて ⑩

十二所地域の遺跡

十二所地域の遺跡は主に米代川流域の段丘上に分布しており、今回の遺跡詳細分布調査では二十四カ所の遺跡が確認された。

十二所地域は、鹿角地方と大館地方を結ぶ中間に位置し、米代川流域を往来する交通路の要衝である。そのため、中世の城館遺跡が六カ所確認され、代表的なものとしては十二所城、葛原館、軽井沢館があげられる。

十二所城は、十二所町の南側台地に築かれ、浸食谷を空堀とし、浸食谷により孤立した四つの台地を郭とした構造になっている。中世は浅利氏家臣十二所信濃が居住し、佐竹氏国替え後



葛原館東側郭の中央に据えられている立石

は赤坂朝光が守備についた。元和元年(一六一五)に塩谷義綱が「所預かり」に任命され、翌年十二所の屋敷割りを実施された。現在でも、郭、空堀、湧水などの遺構がほぼ昔のままの姿をとどめており、中世陶磁器や鉄滓などが採取されている。この城は、規模が大きく保存状態が良好なことから、県内における第一級の中世城館遺跡といえます。葛原館は、葛原集落西方の老犬神社の眼下に広がる台地上にあり、五つの郭と一つの丸出しになっている。葛原館についての詳細は不明であるが、ここからは土師器、須恵器、中世陶器が採取されている。東側にある郭の中央には立石が据えられているが、この立石が何を意味しているか、葛原館とどのような関係にあるのかは分かっていない。軽井沢館は、米代川北岸の独立した残丘の軽井沢字萩峠にある。額田淡路守の居城であったが、十狐城主浅利則頼によって滅ぼされたといわれ、その時の敗戦悲話の伝承が鎧ヶ崎の名とともに残っている。遺跡から

は、縄文時代後期の土器、中世陶器などが採取され、縄文時代竪穴住居跡や中世空堀の遺構が確認された。現在は、国道103号により南北に分断され、畑地、杉林となっている。

昭和五十四年、国道103号バイパス工事の際、曲田から軽井沢にかけての米代川北岸で発掘調査が行われた。その中の蔦ヶ長根IV遺跡からは、鹹水産(海産)貝の貝殻を使って文様を施した約八千年前の貝殻文土器が多数出土した。この遺跡に立ち、海から遠く離れた大館地方と貝殻文土器を結ぶ「道」に思いをめぐらすとき、古代から続く米代川の川音が聞こえてくる。

市役所史跡探訪会

私の本棚

中央図書館新着図書

『結婚と家族』

福島 瑞穂 著 岩波書店

社会の変革に伴って人と人とのかかわり方もおのずと変化してくる。夫婦、親子、扶養、戸籍の問題等、今大きく変わろうとしている家族関係。一番身近でありながら、さまざまな問題をはらむ



新しい家族関係のあり方を考えさせてくれる1冊。

◇終の夏かは(古越富美恵) ◇ダレカガナカニイル... (井上夢人) ◇霧の向こう側(夏樹静子) ◇峠の声(伊集院静) ◇寒河江伝説(半村良) ◇乗り換えの多い旅(田辺聖子) ◇反撃の海峡(ジャック・ヒギンズ) ◇影の巡礼者(ジョン・ル・カレ) ほか

◇アフリカゾウ絶滅の危機!?(赤坂直彦) ◇北の森にヒグマを追って(青井俊樹) ほか

2月のテーマ関連図書コーナー 『回顧録』
親子読み聞かせ会
毎月第1金曜日 午後2時30分から
中央図書館の休館日
2月16日、27日、3月15日

クイズ 広報 おおだてがヒント

- ▽問題
- ①汚水をきれいな水にして川に流すための下水道の心臓部は?
 - ②文通を望んでいる富科佳さんが住んでいるのは中国の何市?
 - ③2月2日から5日まで東京など4会場で開催された懇談会は?
 - ④建築物防災週間の期間は何?
- ▽応募方法
- ハガキに住所、氏名、年齢、性別、答え(例①—②—)を書いてご応募ください。
- ▽締め切り 2月26日 当日消印有効
- ▽応募先
- 〒017 大館市字中城20番地
広報おおだてクイズ係
※全問正解者の中から、抽選で5人に記念品をお贈りします。
ドシドシご応募ください。
- ▽1月16日号の答え
- ①200億8,943万円
 - ②2月5日
 - ③282,315円
 - ④訪問集金制
 - ⑤賛能辞賀楽美
- ▽1月16日号の当選者
- ・佐々木博美さん(御成町2丁目)
 - ・蛇川純子さん(川口)
 - ・田中きぬ子さん(東台3丁目)
 - ・佐々木牧子さん(釈迦内中台)
 - ・佐々木武さん(たつみ町)
- ※応募総数83、そのうち全問正解者は11人でした。